

科目名	発達障害作業療法学演習【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	江 渡 文						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必修（作業）
授業の概要 及びねらい	発達障害作業療法学で学んだ知識を基に、各疾患の障害特性を理解し、作業療法治療の計画、立案について概説する。また、発達障害児者を取り巻く環境を理解し、家族を含めた支援を考える。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 発達障害の評価、治療について、理解する。 2) 定型発達を知識を作業療法計画に応用できる。 3) 摂食・嚥下障害について説明できる。 4) 療育の意義について述べるができる。 5) 脳性まひを持つ子どもと、その家族を含めた支援について理解する。 6) 重症心身障害を持つ子どもと、その家族を含めた支援について理解する。 7) 発達障害を持つ子どもと、その家族を含めた支援について理解する。						
学習方法	講義・グループワーク・実技						
テキスト及び参考書等	テキスト：「発達障害と作業療法（基礎編）」岩崎清隆（三輪書店）、「発達障害と作業療法（実践編）」岩崎清隆（三輪書店）、正常発達脳性まひ治療への応用 紀伊克昌（三輪書店）						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎				60		
小テスト等	○				10		
宿題・授業外レポート		○			10		
授業態度			◎	○	10		
受講者の発表							
授業への参加度			◎		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション、発達障害作業療法概論						
第 2 週	定型発達と作業療法						
第 3 週	脳性まひの臨床像						
第 4 週	脳性まひの評価と治療計画						
第 5 週	重症心身障害児の臨床像						
第 6 週	重症心身障害児の評価と治療						
第 7 週	ポジショニング実技①						
第 8 週	ポジショニング実技②						
第 9 週	摂食・嚥下障害の理解						
第 10 週	広汎性発達障害と作業療法						
第 11 週	広汎性発達障害の評価と治療計画①						
第 12 週	広汎性発達障害の評価と治療計画②						
第 13 週	症例検討①						
第 14 週	症例検討②						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考	授業中わからないことに対して、積極的に質問すること。						